



平成29年第3回定例会 (平成29年9月22日開催画像)

平成30年度予算要望書提出

(江東区議会公明党予算要望)

区議会公明党は、山崎区長に区民が安心して暮らし続けられるように、子育て支援・高齢者支援・子どもの健全育成・障がい者(児)支援・防災減災対策・まちづくり・環境対策・産業の振興など、新年度予算に着実に反映されるよう、強く要望しました。



平成29年第3回区議会定例会

いつも大変お世話になります。

議会では、第3回定例会が平成29年9月21日から10月25日まで開催され、今回は22日に一般質問で立たせていただきました。

1. 中小企業支援、2. 独居高齢者の問題について、3. 南部地区の地域課題についての右3点を質問しました。今後も、皆様からのお声をしっかり受け止め、総力あげ、団結して取り組んでまいります。

1. 本区における今後の中小企業支援について

- (1) 地元事業者が抱える課題認識と課題等に関する調査実施について
- (2) 中小企業へのコンサルティング機能の強化およびメンタークラブの活用等の経営支援について
- (3) 中小企業のICT利活用について

2. 高齢化進展に伴う独居高齢者の問題について

- (1) 認知症について
- (2) ごみ処理について
- (3) 防犯対策について

3. 南部地区の地域課題について

- 1. 安心の子育て、少子化対策
 - 2. 未来を担う児童・生徒の健全育成、
 - 3. 子ども・若者支援、
 - 4. 高齢者福祉の推進、
 - 5. 障がい者(児)福祉の向上、
 - 6. いのち・健康、
 - 7. 2020年東京オリンピック・パラリンピック、
 - 8. 防災・減災・防犯対策、
 - 9. 快適なまちづくり、
 - 10. 産業の活性化と魅力ある観光振興、
 - 11. 持続可能な社会の構築(環境・清掃関係)、
 - 12. 文化スポーツの振興、
 - 13. 行財政改革等、
- 302項目にわたり要望しました。

区民相談、法律相談は、お気軽に(区役所3階公明党相談室にて)



「みんなが笑顔で住めるまち・江東区」を目指して

皆様からのお声をしっかり受け止め、全力で取り組んでまいります

やつぎ こうじ (矢次 浩二)

江東区議会議員

連絡先: 080-9804-9744

メールマガジン登録者募集中!

法律相談

毎月第2・4金曜日に当日受付順で午後2時から開催しています。
11月10日・24日、12月8日、H30年1月12日・26日、
2月9日・23日、3月9日・23日、4月13日・27日



9月
本議会

やつぎ議会質問の一部抜粋

1. 中小企業支援について

質問

収益に直結し、導入が容易なITシステムを、本区の中小企業のICT利活用を後押しする新たな経営支援が必要。区の認識と取組み状況について伺う。

答弁

ICT利活用の推進は、中小企業の経営力向上にとって様々な効果が期待できる重要な要素であると認識。今後も区内中小企業の抱える課題に的確に対応した支援事業のあり方について検討する。

2. 高齢化進展に伴う独居高齢者の問題について

質問

(1)認知症について
初期対応の取組みについて、また、家族等が面倒をみない、また認知度合が判らず、家族から暴力を受けるなどの見えづらい問題が発生するケースがあり、家族がいるが、面倒をみない等の見えない・見えづらい問題が発生する可能性があるケースの対応について伺う。

答弁

認知症初期集中支援チームの編成や支援の進め方について議論し、できる限り早い段階で包括的に提供できる体制を目指す。また、見えない・見えづらい問題が発生する可能性があるケースの対応について、問題は極力明らかにし、将来発生するリスクなども予見し、対応している。

質問

(3)防犯対策について
地域の高齢者の方々から防犯対策についてしっかり取り組んでほしいとのお声があり、高齢者に対する防犯対策についての区の考えと今後の取組みについて

“やつぎ 伺う。ひとこと

3. 南部地区の地域課題について

質問

辰巳駅や潮見駅の周辺駅とオリ・パラ競技会場を結ぶルート、利用が予想される漣橋は道路、歩道の幅員が狭い等課題があり、辰巳、潮見地域の方々から日常生活はもちろん、障がい者、高齢者に対しても支障がでるのではないかと。想定される導線について、どのように認識し対応してゆくのか。

答弁

ルートについて、都に、まずは十分に幅員の確保がされている道路など、住民生活に影響の少ない選定を求める。また、障がい者や高齢者などの移動について、段差解消等の都の依頼があれば必要な整備を行う。

質問

(2)ごみ処理について
独居高齢者の方でゴミ出しが困難になり、自宅に放置し、分別されずごみ出しするなど、ごみ屋敷化やマナー違反等の様々な問題に発展。このような独居高齢者に対するごみ処理の対応について、また、片付けや処分の学習会の開催など必要であると考えているが、見解を伺う。

答弁

精神疾患や本人意思でゴミが捨てられない場合は、多様な関係と連携を図りつつ、不衛生な生活環境の改善に向けて対応していく。また、片付けや処分の普及啓発の必要性については、民間の取組状況や区民ニーズを注視しながら、その手法について検討する。

答弁

防犯教室等の開催や敬老の集いの講話など、機会を捉えて防犯情報の提供を行い、被害に遭わない意識の醸成に努めている。今後については、高齢者が安心して日常生活を営むことができるよう、警察等との連携強化に努める。